
GPS多機能スロープメーター 取扱説明書

M-GPS-V01



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前に本書を全て必ずお読みいただき、

正しいお取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、

当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

1. 安全・取り扱いに関するご注意	1
1.1. 取り付け作業をする前に	1
1.2. 取扱いに関して	3
2. 構成部品・各部名称	4
3. 製品仕様	5
4. 取付方法	5
4.1. 動作確認(取り付け前に)	5
4.2. 本体を取り付ける	5
5. 使用方法	6
5.1. 電源のON/OFF	6
5.2. 画面表示	6
5.3. ボタン操作について	7
5.4. 傾斜計機能校正	7
5.5. 安全運転警告機能	7
5.6. 表示モード切替	8
6. 各種設定	9
7. よくあるご質問	11

1. 安全・取扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本製品は車両情報を表示する製品です。本製品を取り付けの前に本取扱説明書及び取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上で取り付けていただきますようお願い申し上げます。

本書では、取扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
⚠ 警告	取扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確 認	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

⚠	⚠ 注意(警告を含む)をしなければならない記号です。
🚫	🚫 は、行為を禁止する記号です。(絶対にしてはいけない事です。)
📌	📌 は、行為を指示する記号です。(必ず行っていただくことです。)

1.1. 取り付け作業をする前に

⚠ 危険

- 🚫 製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- 🚫 ステアリング、ブレーキなどの運転操作に直接関係する部位付近には配線しないでください。運転の妨げによる事故の原因となり大変危険です。

- ❶ 作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因になり大変危険です。
- ❷ シートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時(ネジの脱着など)は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
- ❸ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けしないでください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正(平成17年1月1日)に従い、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。
- ❹ 製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

⚠ 警告

- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。
- エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。
- 作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。
- 乗員保護装置(エアバッグ等)の作動に影響を及ぼす場所に取り付けしないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- 本製品付属のハーネス以外で配線をしないでください。
- 本製品は、水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けしないでください。
- コードを強く引っ張らないでください。破損の原因となります。
- ❶ 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
- ❷ ハーネスは点火信号や無線、HIDユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズは製品誤動作の原因となります。

- ❗ サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品の間には置くようにして製品が日陰になるようにしてください。
- ❗ 清掃するときは、電源を切り、眼鏡拭きやスマホクリーナーのような乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)、酸・アルカリ類は使用しないでください。
- ⚠️ 取り付け作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1.2. 取扱いに関して

⚠️ 警告

- ⊖ 走行中は安全のため本製品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
- ⊖ 「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。
- ❗ 取り付け後も定期的に点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。
- ❗ 本製品を長期間使用しないときは車両から外してください。
- ❗ 廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。
- ❗ 操作は車を停止して行ってください。
- ❗ 製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。

⚠️ 注意

- ⚠️ 本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ⚠️ 本製品は照明に高輝度LEDを使用しています。LED生産上の公差による多少の色味の違いが発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。
- ⚠️ アイドリングストップ車の場合、アイドリングストップ時のバッテリー電圧の降下によりエンジン始動復帰時に製品の電源がオフ/オンする場合がありますが、製品の異常ではありません。
- ⚠️ 本製品は製品改良のため予告なく本体ソフトウェアをバージョンアップすることがあります。そのため本書と製品の内容が若干異なる場合があります。

本製品を取り付けての違法行為(スピード違反など)に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

2. 構成部品・各部名称



本体



USB接続ケーブル



シガープラグ



吸盤式スタンド



両面テープ



① 液晶ディスプレイ

② 【M】メニューボタン

③ ▶ボタン

④ ◀ボタン

⑤ 電源ボタン

⑥ 光センサー

⑦ スタンド装着部

⑧ microUSBポート

※ロットにより仕様が異なる場合があります。

3. 製品仕様

表示	マルチカラーデザイン (8種類表示インターフェース)	環境騒音	<= 60dB
動作温度	-40℃~+40℃	動作電圧	DC5V
動作湿度	10%~95%	アラーム音 レベル	= 30dB (A)

4. 取付方法

4.1. 動作確認(取り付け前に)

取り付けの注意をご確認いただき、必ず本機を車両に仮取り付けして動作確認をしてください。

4.2. 本体を取り付ける

1. 本体底面に両面テープ、または吸盤式スタンドを背面に取り付けます。
2. 濡れたタオルなどでダッシュボードやガラスなど設置する面を拭き、きれいにしてから本体を固定します。
3. USB接続ケーブルを本体背面とシガープラグに接続し、車両のシガーソケットに差し込みます。

※車両の機能(エアバッグや運転支援システムなど)に影響のない場所に取り付けてください。

※本体上方向、前方向に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

※液晶の特性上、本体を取付ける場所や角度によってはディスプレイが見えにくくなる場合があります。

ディスプレイが視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面になるように本体を取り付けてください。

※光センサーの前に物を置くなどして遮ると自動感光が機能しくなくなります。

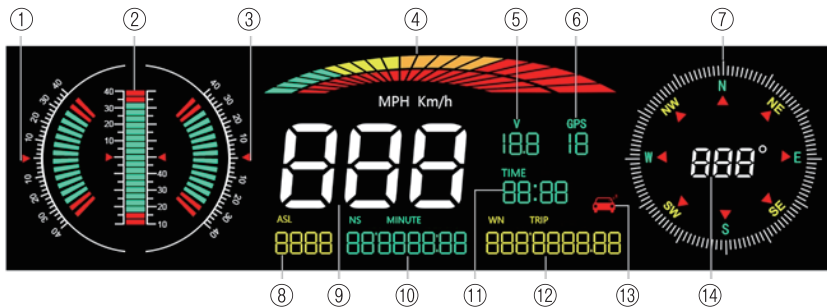
5. 使用方法

5.1. 電源のON/OFF

車のエンジンを始動(ACCをON)すると自動的に起動、エンジン停止(ACCをOFF)すると自動的に停止します。

また通電時に電源ボタンを長押ししてON/OFF切替もできます。

5.2. 画面表示



- ① 左傾斜角度
- ② 前後傾斜角度
- ③ 右傾斜角度
- ④ 装飾アイコン
- ⑤ バッテリー電圧
- ⑥ GPS衛星数
- ⑦ 進行方向
- ⑧ 海拔高度
- ⑨ 車速
- ⑩ 緯度/運転時間
- ⑪ 現在時刻
- ⑫ 経度/運転距離
- ⑬ 疲労運転アイコン
- ⑭ 方位角

前後左右傾斜角度	車体が前後左右に傾くとメーターが移動します。 -40~+40°以上に傾くと警告ブザーが鳴ります。
GPS衛星数	GPSランプ点滅：衛星信号を受信するまで点滅します。 点滅が消える：衛星数を表示します。
進行方向	車速が5km/hを超えると進行方向を表示します。
疲労運転アイコン	連続で運転する時間が設定メニューで設定した時間以上に達するとアイコンが点滅します。
方位角	北を0°として時計回りに角度を振ったものです。 (例)北…0°、東…90°、南…180°、西…270°

5.3. ボタン操作について

電源ボタン	短押し 傾斜計機能校正
	長押し 2秒ほど長押し⇒電源ON/OFF
◀ボタン	短押し 緯度/運転時間表示切替 / 設定項目調整
▶ボタン	短押し 経度/運転距離表示切替 / 設定項目調整
	長押し 5秒ほど長押し⇒警告ブザーON/OFF切替
【M】メニューボタン	短押し 表示モード切替 / 設定項目切替
	長押し 2秒ほど長押し⇒設定メニューに移動 設定メニューで2秒ほど長押し⇒設定を保存

5.4. 傾斜計機能校正

本体を設置後、電源ONの状態です電源ボタンを短押しすると前後・左右の傾斜が0°になります。

※本体はなるべく平たい(水平が取れる)所に設置してから校正を行ってください。

5.5. 安全運転警告機能

●疲労運転警告

連続運転時間が設定した値に達すると警告アラームが鳴ります。

●スピード超過警告

車速が設定された値になると警告アラームが鳴ります。

※設定メニューにて数値の変更ができます。

5.6. 表示モード切替

【M】メニューボタンを短押しするごとに表示モードが切り替わります。
モードは8種類あり表示される項目が変わります。



⚠ 注意

- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者が操作するか、車を安全な所に停止させてから操作してください。
- 画面を強く押ししたり、先の鋭いもので押さないでください。表示パネルが割れて、ケガの原因となります。

6. 各種設定

【M】メニューボタンを長押しして設定メニューに移動します。

【M】メニューボタンを短押しするごとに設定項目の切替、◀▶ボタンで設定項目を調整します。

再度【M】メニューボタン長押しで設定内容を保存し、メーター画面に戻ります。

設定メニュー

メニュー	機能	調整範囲	使用説明	初期値	設定画面
1	言語	0 1	0…英語 1…中国語	0	
2	速度誤差調整	50 150	(例) 車両のメーターが100km/h表示された時に本機が105km/h表示であれば、設定値を102km/hに調整します。	107	
3	スピード超過注意の設定	30 250	車速が設定された値になると、警告アラームが鳴ります。	150	
4	速度単位	0 1	0…キロ km/h 1…マイル MPH/h	0	
5	疲労運転警告	1.0 8.0	連続運転時間が設定した値に達すると警告アラームが鳴ります。	4.0	

メニュー	機能	調整範囲	使用説明	初期値	設定画面
6	明るさ モード	0 8	0が自動感光モード 1~8がマニュアル 調整モードです。	0	
7	時刻調整	00:00 23:00	◀・▶ボタンを押して時間帯を調整します。	GMT+9	
8	左右 傾斜度 調整	50 150	左右傾斜度に誤差がある時、調整してください。	100	
9	前後 傾斜度 調整	50 150	前後傾斜度に誤差がある時、調整してください。	100	
10	リセット	0 1	各種設定をリセットする場合は1に変更して、【M】メニューボタン長押しして保存します。	0	

7. よくあるご質問

症状	対処方法
動作しない 電源が入らない	ケーブル、シガープラグの接続をご確認ください。また他のDC5V電源と接続して、通電状態をご確認ください。
運転していても スピードの数字が 変化しない	電源を入れた後、GPSの受信状態になりますので、広い道路へ移動してください。3個以上のGPS信号を受信すると表示されます。
ブザーが鳴りやまない	左右や前後傾斜計が偏りすぎるとブザーが鳴ります。
スピードメーターの 表示に明らかな誤差 がある	設定メニューにて車速表示の速度単位を確認してください。
時刻表示が1時間 ずれて表示される	設定メニューにて時間帯を調整してください。
車速表示が実際と 合わない	まず、車速表示の単位(キロ km/h、マイル MPH/h)が正しく設定されているかご確認ください。 純正メーターの車速表示は実際より最大10%程度高い場合があります。 設定メニューにて速度誤差調整を行ってください。 (例) 車両のメーターが100km/h表示された時に本機が105km/h表示であれば、設定値を102km/hに調整することをお勧めします。
誤った運転方向が 表示される	車速がなければGPS衛星は運転の進行方向が検出できません。車速が5km/h以上になると正常な表示に戻ります。
車が停止した後も 速度が表示される	地下駐車場、トンネル内、高架道路の下、また高層ビルなどの障害物で周囲を囲まれた所にいるとGPS受信できなくなり誤って表示される場合があります。 広い道路へ移動して3個以上のGPS信号を受信すると正常な表示に戻ります。

※仕様変更などにより本書の内容と本機が一致しない場合がありますので予めご了承ください。

※本書の著作権は昌騰有限会社に帰属します。無断複製、引用は固く禁じます。